

<1 年生 (1A10xxxx) 対象内容>

【外国語科目履修の手引き(2010 年度)から該当部分のみ抜粋】

TOEFL-ITP®の受験必修について

1 年次 11 月中間頃に実施される TOEFL-ITP®では全ての学生が 430 点以上を取得しなければならない。不受験、または 430 点に達しなかった場合には、1 年次秋学期の「英語」科目の成績は自動的に「H」(不受験)と記録され、2 年次春学期に再履修となる。再履修において登録できるのは中級クラスのみとなる。なお、この必要点数に達しなかった学生は、1 年次の定められた日時までに正規の TOEFL®、TOEFL-ITP®または TOEFL-iBT®のいずれかを個人で受験し、その結果を事務所に報告することができる。結果が TOEFL-ITP®430 点(相当)以上であった場合には、「英語」秋学期科目の成績は通常扱いとなる。ただし上記以外の試験(TOEIC®や TOEIC-IP®など)は対象外とする。試験日程や受験申込手続き、事務所への報告期日については、7 月上旬頃に掲示するので必ず参照すること。

【参考】

TOEFL-ITP® (Test of English as a Foreign Language - Institutional Testing Program)

TOEFL-ITP® とは、過去の TOEFL® 試験問題を使用して行われる TOEFL® 模擬試験にあたるものである。TOEFL® は、アメリカ合衆国の各大学の要望によって「英語圏の大学に入学して通常の授業を受けるのに必要な英語力」を図る試験として開発されたものである。これまでは、主に留学希望者が受験していたが、大学生レベルの英語力を判定する方法としての利用も広がっている。

早稲田大学では、留学センターが窓口になっている交換留学や海外短期プログラムの参加申し込み資格に、学内で受験した TOEFL® のスコアが利用されている。

2010 年 7 月 2 日 政治経済学部